



草津東高等学校図書館
本derful!委員 発行
<2020. 11. 16>
11月号 学校ホームページ版

<予告> 12月8日(火)は
1、2年生「本derful!講演会」です
講師：今村翔吾さん

図書館に様々な著書を揃えていますので、
ぜひ手に取って読んでみてください。

今村翔吾さんの著書を読んで印象に残ったこと、感想

- 時代小説を一冊まるごと読むのは初めてで、ちゃんと読み切れるか少し不安でしたが、高校生でも読める文体で、とても面白くて一気に読んでしまいました！今と時代が違う分、頭の中で万次や喜八の姿や、町並みを想像するのがとても楽しかったです。『くらまし屋稼業』(角川春樹事務所)
- かっこいい時代小説だと思った。江戸時代に「火消」という職業があるのを初めて知ったし、主人公がすごく癖のあるメンバーをスカウトしていくところもおもしろいと思った。『火喰い鳥 羽州ぼろ鳶組』(祥伝社)
- 戦いのシーンは迫力があり、とてもかっこよかった。その中には、別れもあり哀しいが、愛もあっておもしろかった。人を想うことの大切さ、美しさを感じられた。登場人物もみんな魅力的だった。特に作中に出てくる女性たちは芯が強く凛としていてかっこよかった。平安時代のイメージが少し変わった。『童の神』
- 差別されていた童たちが京人たちを殺すのではなく融和しようとするところ。「ただ、人として認めてほしい」という気持ちが伝わってきた。『童の神』(角川春樹事務所) ～「講演会事前ワークシート」(1、2年生)より～

1、2年生各クラスに設置していた**学級文庫**は、引き続き図書館内で特設展示しています。「ほかのクラスではどんな本が選ばれていたのかな?」「借りたくなった本がある!」そんな方もぜひ見に来てくださいね。



あなたが読んだ本の感想をぜひ、3階図書館企画の「読書マラソン」用紙に書いて応募してください。11月末まで受付。副賞は図書カードです♪詳細は司書まで。

『強者の流儀』

朝倉未来：著
KADOKAWA

<内容>

みなさまごきげんよう。この本はいまや日本の格闘技界を引っ張っていく存在となった朝倉未来選手の生き様や考え方について細かく描かれています。自らの体験談も書かれており、読みごたえのある本になっています。

<おすすめポイント>

どうしたら人間的に強くなれるのかという方法を朝倉未来さんなりの考え方で書いてあるところがおすすめです。朝倉さんは自分を貫いていて、この本を読んで、自分の中に取り入れるべきことが見つけられると思います。

『塩狩峠』

三浦綾子：著
新潮社(新潮文庫)

<あらすじ>

結納のため札幌に向かう鉄道職員、永野信夫の乗った列車は、塩狩峠の頂上にさしかかった時、突然客車が離れて暴走し始めた。乗客が恐怖に怯えるなか、信夫は飛びつくようにブレーキに手をかけた。

<おすすめポイント>

主人公永野信夫の一生を書いている作品で、時代特有の差別や偏見に直面しながら成長していく信夫の考え方や生き様にとっても考えさせられた。周りの人間に流されず、常に自分の正しいと思う行動をするべきだと思えることができた。

ホンダフル
本derful!委員のおすすめ本



『ボックス!』

百田尚樹：著
講談社(講談社文庫)

<あらすじ>

主人公は天才学生ボクサーで、負けた事がなかった。練習などをせず喧嘩ばかりしていた。その頃、学校トーナメントで当たった怪物、稲村に生涯初の黒星をくらい、本気でボクサーを目指す事になった。

<おすすめポイント>

幼馴染みとのライバル的な関係が書かれており、青春を感じる作品です。ボクシングの細かい知識なども書いてあり、ボクシングについて詳しくなった気分になります。はたして稲村を倒すことができる人はいるのかと、ワクワクする小説です。

『フォルトウナの瞳』

百田尚樹：著
新潮社(新潮文庫)

<あらすじ>

主人公は人の運命が見える目を持っていた。そして、携帯ショップの店員の女性と恋に落ちる。だが彼は人の運命を変えると、いずれは自分が死ぬことを悟る。そんな時、恋人に死ぬ運命が見える。はたして……。

<おすすめポイント>

僕は主人公の、愛する人のためなら自分は死んでも構わないという気持ちがとても素敵だと思いました。作者さんに対してもよくこんなストーリーを考えることができるなど思いました。最後の結末にはすごくビックリしました。絶対泣きます。

『バカの壁』

私は、正直ほとんど本を読みません。本を読むのが非常に苦手な人間です。私は、車が好きなので、車に関する雑誌や記事は読んでおり、特に興味のある車に関しては車のスペックや特性、長所短所などの情報を営業マン並みに饒舌に解説してみることができます！小説や難しい参考書は全く読む気にならないのですが、車に関しては好きこそもののなんとやら…です。

さて、そんな私が紹介する本は、養老孟司さんの著書で、2003年の新語・流行語大賞も受賞したベストセラー『バカの壁』（新潮社）です。本のタイトルと帯に書かれている“「話せばわかる」なんて大ウソ！！”に衝撃を受け、手にしてみました。読んでみると、想像していた“バカ”とは違っていたことと、目から鱗でなるほど～！と思えることの連続でした。

この本に「結局われわれは、自分の脳に入ることしか理解できない。つまり学問が最終的に突き当たる壁は、自分の脳だ。」とあるように、“バカの壁”とは自分自身の思考の限界なのだということが、いろいろな“壁”を例に挙げて書かれており、とてもよく理解できました。教師という仕事は、授業や生徒指導、進路指導では生徒と、会議や打ち合わせでは教員と、話すことで仕事をしています。私たちの思考の根底には、「話せばわかる」と信じて仕事をしていることがあります。そして、コミュニケーションが上手く取れなかったり、話し合いが思うように進まなかったりすると、心の中で「この人とは話が通じない」と考えがちです。これがまさに著者がいう“バカの壁”なんです。どういうことか興味があれば、是非本を手にとってみてください。私はとても気持ちが楽になりました。

もう一つ。私たちは、急速に変化する情報社会の中で、指を軽く動かしながらたくさんの情報を入手し、あたかも大量の情報を処理している気持ちになっていることがありませんか。この本の中に、「万物流転、情報不変」ということが書かれている。バカな私は、すんなりと理解できませんでした。正に“バカの壁”……。情報化社会においては、情報は次々と発信され目まぐるしく変化をするのだから、自分の考えをしっかりと持ち、情報を取捨選択しながら生きていくものだと考えていました。この本では、その逆を説いていました。「情報は変わらない」「個性は自分の中にあり、常に変化をしている」というところにハッとさせられました。今日の自分があって、明日には大きく変わる自分がいるかもしれない……。ということを改めて考えさせられたのです。

最初の段に戻りますが、私は本が苦手でほとんど読みませんが、本には自分に立ち止まって考えることや自分の考えを改めてくれる力があることは認識しています。私も本の壁を越えて、「読めばわかる！」ことを増やしていきたいと思います。

♪新しく買った本より♪

内容	書名	著者	請求記号
哲学	哲学と宗教全史 ★	出口治明	162-7
医療	うそをつかない医療 患者と医療者をつなぐ仕事	豊田郁子	498.1-1
	医療現場からみた新型コロナウイルス	香山リカ 徳田安春	498.6-カ
	新型コロナウイルスとの闘い・現場医師120日の記録 医療と政治の初動を振り返る	地域医療・介護研究会JAPAN、ヘルスケア・システム研究所 共著	498.6-チ
美術	ソッカの美術解剖学ノート ★	ソクジョンヒョン チャンジニ 訳	701.5-ソ
スポーツ/陸上	自由。世界一過酷な競争の果てにたどり着いた哲学 ★	末續慎吾	782.3-入
文学	文豪どうかしてる逸話集 ★	進士素丸	910.2-ソ
小説	劇場版鬼滅の刃 無限列車編ノベライズ	吾峠呼世晴 原作 矢島綾 小説 ufotable 脚本	913.6-コ
	夜明けのすべて	瀬尾まいこ	913.6-セ
	デリバリールーム	西尾維新	913.6-ニ
	谷根千ミステリ散歩 中途半端な逆さま問題	東川篤哉	913.6-七
	マスカレード・ナイト	東野圭吾	B-913.6-七
生き方/起業	裸でも生きる [1] 25歳女性起業家の号泣戦記 ★	山口絵理子	B-589.2-ヤ-1
	裸でも生きる [2] Keep Walking私は歩き続ける	山口絵理子	B-589.2-ヤ-2
絵本	あつかったらぬげばいい	ヨシタケシンスケ	E-913.6-ヨ
コミック	Dr.STONE 18 SCIENCE IS ELEGANT	稲垣理一郎 原作 Boichi 作画	M-726.1-1-18
	鬼滅の刃 零 <煉獄零巻> 劇場版鬼滅の刃 無限列車編	吾峠呼世晴	M-726.1-コ-0
	ハイキュー!! 45 挑戦者たち	古舘春一	M-726.1-7-45
新書	目の見えない人は世界をどう見ているのか	伊藤亜紗	S-369.2-1
	目に見えない世界を歩く「全盲」のフィールドワーク	広瀬浩二郎	S-369.2-七

★印の本は資料相談やリクエストから入りました。予約、リクエスト、資料相談はいつでもお気軽に司書まで。

